

確認要領（令和6年分給与所得者の扶養控除等（異動）申告書）

太枠内の記載内容を確認する ⇒ 誤りや不足がある場合は**朱書き**で修正・加筆のうえ提出すること  
※源泉控除対象配偶者欄に記載がある場合（加筆の場合も含む）は、「令和6年分給与所得者の配偶者控除等申告書（令6基配所）」を必ず提出すること  
修正・加筆事項がない場合は提出の必要はありません

＜提出時の必須事項＞

- 個人番号（マイナンバー）は記載しない
- 修正・加筆した場合は、**申告内容を太枠外も含めすべて記載すること**
- 申告書は職員番号ごとに出ています  
複数枚届いた方で、提出する場合は、そのうち**一枚に職員番号を全て記載して提出すること**

12345678

職員番号

令和6年分 給与所得者の扶養控除等（異動）申告書

- 氏名、フリガナ（戸籍名）  
※外国人は履歴書に記載した氏名・フリガナ
- 生年月日

- 「あなたの住所又は居所」欄は、現住所ではなく  
住民登録のある住所になりますので、よくご確認ください

【源泉控除対象配偶者】  
あなた（令和6(2024)年中の所得の見積額が900万円（給与所得だけの場合は、給与収入1,100万円以下（所得金額調整控除の適用を受けない場合は1,095万円以下））と生計を一にする配偶者（青色事業専従者として給与の支払いを受ける人などを除く）で令和6(2024)年中の所得の見積額が95万円（給与所得だけの場合は、給与収入150万円）以下の人。

【同一生計配偶者】  
あなたと生計を一にする配偶者（青色事業専従者として給与の支払いを受ける人などを除く）で令和6(2024)年中の所得の見積額が48万円（給与所得だけの場合は、給与収入103万円）以下の人が同一生計配偶者で障害者に該当する場合には、該当する欄に○をつけます。

寡婦・ひとり親に該当するかは  
次ページのフローチャートでご確認ください

【源泉控除対象配偶者】

- 氏名（戸籍名）※個人番号（マイナンバー）は記載しない
- 生年月日
- 所得の見積額が**95万円以下（収入額150万円以下※）**の者  
※収入が給与所得のみの場合  
**配偶者控除等申告書を必ず提出すること**

【控除対象扶養親族】

- 氏名（戸籍名）※個人番号（マイナンバー）は記載しない
- 生年月日（平 21.1.1 以前生まれの者）
- 所得の見積額（下表[A]の金額）が**48万円以下（収入額103万円以下※）**になる者  
※収入が給与所得のみの場合
- 別居している扶養親族については、生計を同じくしている事実がある者
- 同居老親等、特定扶養親族欄の☑
- 令和6(2024)年中に死亡した者  
（死亡した年まで控除対象となるため）

【所得の見積額 計算表】

※遺族年金、雇用保険の失業給付金、育児休業中の育児給付金などは、非課税のため所得に含めない。

所得の種類	収入金額等②	必要経費等③	所得金額(②－③)
給与所得	円	円	(マイナスの場合は0)円
事業所得	(1)	550,000	
雑所得	(2)		
公的年金等収入	(3)	公的年金等控除額表参照	※
配当所得	(4)		
不動産所得	(5)		
退職所得	(6)	(退職所得控除額)	(②－⑤)×1/2
(1)～(6)以外の所得	(7)	(うち特別控除額 円)	一時所得又は長期譲渡所得は1/2
(1)～(7)の合計額[A]			

- 該当箇所に○
- 障害者の扶養親族の人数を( )内

障害者又は勤労学生について修正・加筆がある場合は必ず「障害者又は勤労学生の内容」を記載する

- 氏名（戸籍名）  
※個人番号（マイナンバー）は記載しない
- 生年月日  
（平 21.1.2 以後生まれの者）
- 住所又は居所

令6扶養要領

## 令和6年分給与所得者の扶養控除等(異動)申告書／ひとり親控除、寡婦控除に関する申告

「令和6年分給与所得者の扶養控除等(異動)申告書」のC欄にて申告します。控除の対象となるか下記フローチャートで確認してください。

あなたは現在独身ですか。

未婚、離婚、もしくは配偶者と死別している、配偶者の生死が不明 ⇒ はい

婚姻の届出をしていなくても、事実上婚姻関係と同様の事情にある場合 ⇒ いいえ

はい ↓

あなたの合計所得金額(見積額)は 500 万円以下※ですか。

※給与のみの場合、収入 6,777,778 円以下

はい ↓

はい ↓

あなたと生計を一にしており、あなた自身が扶養している子※はいますか。

※他の人の同一生計配偶者や扶養親族とされている子、総所得金額等が 48 万円を超える子は除く

はい ↓

いいえ ↓

あなたは婚姻したことがある女性ですか

はい ↓

いいえ ↓

現在、独身である原因は、夫との死別(生死不明含む)ですかそれとも離婚ですか

死別 ↓

離婚 ↓

扶養親族はいますか

はい ↓

いいえ ↓

ひとり親控除の対象です(控除額 35 万円)

寡婦控除の対象です(控除額 27 万円)

ひとり親控除、寡婦控除は適用されません

公的年金等控除額表

① 65歳以上の人の公的年金等控除額

公的年金等の収入金額 (A)	公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額		
	1,000 万円以下	1,000 万円超 2,000 万円以下	2,000 万円超
330万円以下	110万円	100万円	90万円
330万円超 410万円以下	(A) × 25% + 27万5,000円	(A) × 25% + 17万5,000円	(A) × 25% + 7万5,000円
410万円超 770万円以下	(A) × 15% + 68万5,000円	(A) × 15% + 58万5,000円	(A) × 15% + 48万5,000円
770万円超 1,000万円以下	(A) × 5 % + 145万5,000円	(A) × 5 % + 135万5,000円	(A) × 5 % + 125万5,000円
1,000万円超	195万5,000円	185万5,000円	175万5,000円

② 65歳未満の人の公的年金等控除額

公的年金等の収入金額 (A)	公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額		
	1,000 万円以下	1,000 万円超 2,000 万円以下	2,000 万円超
130万円以下	60万円	50万円	40万円
130万円超 410万円以下	(A) × 25% + 27万5,000円	(A) × 25% + 17万5,000円	(A) × 25% + 7万5,000円
410万円超 770万円以下	(A) × 15% + 68万5,000円	(A) × 15% + 58万5,000円	(A) × 15% + 48万5,000円
770万円超 1,000万円以下	(A) × 5 % + 145万5,000円	(A) × 5 % + 135万5,000円	(A) × 5 % + 125万5,000円
1,000万円超	195万5,000円	185万5,000円	175万5,000円

(注)年齢65歳以上の人とは、昭和35年1月1日以前に生まれた人をいいます